



博多まちづくり推進協議会
HAKATA TOWN PLANNING PROMOTION COUNCIL

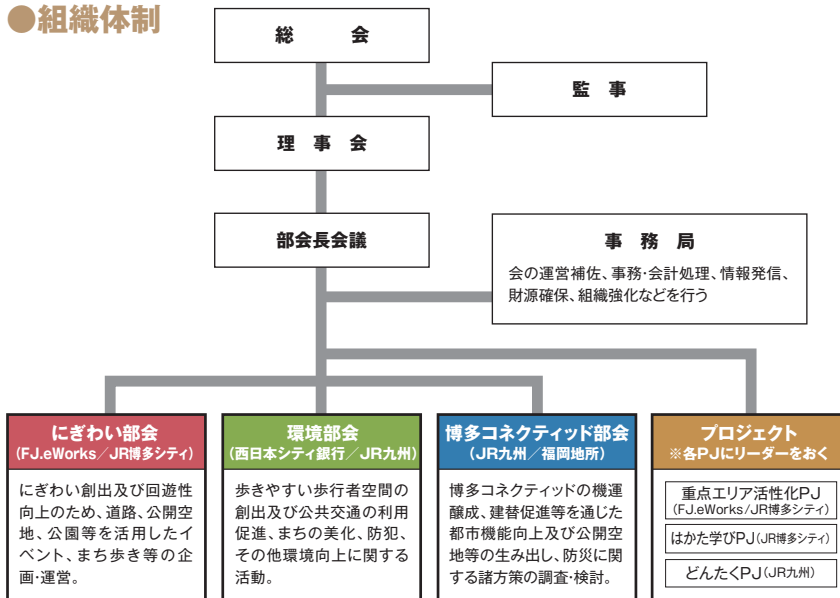
2025年度 事業報告書

Annual Report 2025

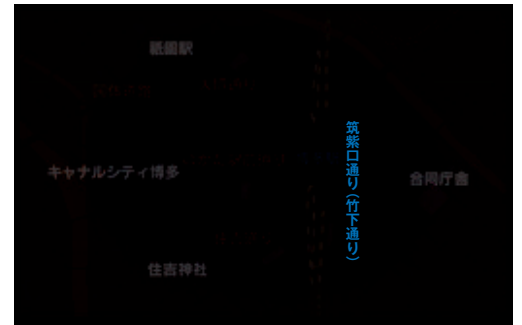
2025年度(令和7年度)の活動

2025年度は、「博多まちづくりガイドライン」に基づき、新たに「つながる」と位置づけた「アクションプラン(2023-2025)」の最終年度で、博多の新しい将来像実現に向け活動しつつ、2026年度から始まる新たな中期計画に向けた準備の年として、これまでの事業の見直し等も進めてまいりました。はかた駅前“どんたく”ストリート、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用した「はかたイーストリート」、冬季イルミネーション事業「冬のファンタジー・はかた」など多くのお客さまが集まるイベントや、クリーンデイ、防災訓練の実施など安全・安心なまちの環境維持・向上など、行政・地域・事業者・会員が連携し、「歩いて楽しいまち」と「美しく安心なまち」の実現に向けた活動を行いました。

●組織体制



●活動エリア



「博多まちづくりガイドライン」と協議会の活動

博多のまちでは、まちづくりの方向性や方針をまとめた「博多まちづくりガイドライン」をもとに、様々な関係者が将来像を共有しながら、その実現に向け、まちの魅力や価値を高めていく活動が進められています。

博多まちづくり推進協議会では、「博多まちづくりガイドライン」に描くまちの将来像を実現するため、概ね3年間で協議会が主体となって重点的に取り組む活動と、その活動を通じて達成したい目標を定めた「アクションプラン」を策定し、まちづくりを推進しています。



●アクションプラン(2023-2025)

2022年度末の地下鉄七隈線延伸により、福岡市南西部と博多駅地区との時間を大幅に縮め、渡辺通地区や天神地区との回遊性が向上しました。また、九州全域や本州方面へのアクセスのハブである博多駅地区の拠点性が高まりました。

また、博多駅周辺エリアにおける更新期を迎えたビルの建替えを促進するプロジェクト「博多コネクティッド」についても、着実に建替えが進んでいます。

2023年度からの3カ年を、「博多駅地区」と「渡辺通地区」や「天神地区」がつながり、

**博多コネクティッドの促進によって
新たに生まれたにぎわいが
“つながる”期間**と位置づけました。

重要テーマ	アクション
I. にぎわい・回遊	通りの魅力を磨き上げ、にぎわいを駅からまち全体に広げる
II. 交通	多様な移動手段が共存し、誰もが歩きやすいまちを目指す
III. 歴史・文化	数ある博多の歴史・文化・食の魅力を発掘し、発信を強化する
IV. 環境	環境に配慮した活動を拡大し、彩り豊かなまちをつくる
V. みどり・公園	みんなが使う、みんなでつくる「都会のオアシス」を目指す
VI. 安全・安心	安心して歩けるまちを目指して、まち全体の連携を推進する
VII. 防災	行政、地域、まち協が協力し、三位一体となった取り組みを進める

歩いて楽しいまちづくり

アクション

- I. 通りの魅力を磨き上げ、にぎわいを駅からまち全体に拡げる
- II. 多様な移動手段が共存し、誰もが歩きやすいまちを目指す
- III. 数ある博多の歴史・文化・食の魅力を発掘し、発信を強化する

特別協賛事業

●第15回はかた駅前“どんたく”ストリート

5/3(土・祝)、5/4(日・祝)

博多駅地区のにぎわい創出と、福岡都心部全体の活性化を目的に、博多どんたく港まつりの主要行事として「はかた駅前通り」の約135mをステージとする「はかた駅前“どんたく”ストリート」を開催。

2日間とも晴天に恵まれ、両日合わせて2万7千人を超えるお客さまにご来場いただいた。

出演者は伝統芸能やダンス、パレードなどバラエティ豊かな演目で会場を盛り上げ、お客さまの歓声とともにGWの博多を彩った。

出演団体：延べ37団体(5/3：12団体、5/4：25団体)

出演者数：2,211名

来場者数：27,086名（5/3…12,239名）
（5/4…14,847名）



●冬のファンタジー・はかた 11/1(土)～1/12(月・祝)

博多駅周辺地区の回遊性向上、防犯対策を目的に、はかた駅前通りや大博通り、筑紫口中央通りなどの街路樹にLEDストリングスを装飾してまちを彩る「冬のファンタジー・はかた」を開催した。

協議会として歩道樹木などの公共空間を彩ることで、JR博多シティやキャナルシティ博多などの核となるイルミネーションをつなぎ、エリア全体でクリスマスシーズンの街並みを華やかに演出した。

今年度より新規の樹木装飾を行うことで、より密度の高い演出を行うことができた。



にぎわい・回遊

●はかたイーストリート

10/30(木)、10/31(金)

歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用し、筑紫口中央通りの道路空間や公開空地の持続的な活用と、博多駅筑紫口の快適な空間づくりやにぎわいの広がりをつくるために開催。普段は通行するだけの通りに休憩・滞留ができるテーブルや椅子を設置し、キッチンカーや沿道店舗のテイクアウト、公開空地を活用した音楽ステージを実施。今年度はコネクトスクエア博多にて日本デザイナー学院の学生によるライブペインティングイベントや、福岡市の一人一花運動との連携企画として「花屋台」を出店。筑紫口中央通りのにぎわい創出につなげた。



●博多まち歩きマップ(日本語版、外国語版) 10月発行

博多駅、中洲川端、御供所エリアのまち歩きコースを紹介する「博多まち歩きマップ」を2年ぶりに改訂。歴史や文化を感じられるスポットやおすすめのグルメを紹介。話題のスポットを紹介する「HAKATA HOT SPOT」や地元民しか知らないような穴場スポットを紹介する「穴場ストリート」など、観光客だけでなく地元の人も読んで楽しめるマップを制作した。本マップは、博多周辺のホテルや観光案内所などに設置されているほか、HPでも閲覧することができる。

また、昨年に引き続き、「博多まち歩きマップ」の外国語版を制作。博多まち歩きマップの『御供所周辺コース』と『博多駅周辺コース』の2コースを、英語・韓国語・簡体字・繁体字の4言語で制作。博多駅総合案内所や福岡市観光案内所など、外国人観光客が多い場所にて配布し、HPでも公開中。

発行部数：

日本語版 10万部発行

外国語版 英語1万部、
韓国語5千部、
簡体字5千部、
繁体字5千部



●博多まちづくりミートアップ vol.33、vol.34

①10/21(火) ②3/19(木)

博多で様々な事業を行う方や全国の先進事例の立役者をゲストに招き、その取り組みを通じて「博多のまち」について考え議論をすることで「これからの博多のまちづくり」を考えるトークイベント。

<今年のテーマ>

①まちづくり視点で誕生した「ONE FUKUOKA BLDG.」の開発ストーリーとは？

ゲスト：西日本鉄道株式会社 ONE FUKUOKA BLDG.部 課長 永井 伸 様

会 場：ONE FUKUOKA BLDG.カンファレンスホール

33回目となる今回は博多から飛び出し、天神に2025年4月開業した「ONE FUKUOKA BLDG.」で実施。これからの博多のまちづくりに活かせることをゲストと参加者で意見交換することができた。

②街と人を繋ぐ。明治公園の挑戦から学ぶ、これからのまちづくり

ゲスト：東京建物株式会社 新規事業開発部 インフラ・PPP推進グループ 北川 雄大 様

会 場：コワーキング&コラーニングスペース Q

福岡市初のPark-PFI事業として注目を集める明治公園。「公園が新しくなることで、博多の人の流れはどう変わる?」「街を歩く楽しさをどうつくる?」そんなワクワクする未来のビジョンや、持続可能な公園運営にかける熱い想いを伺った。

参加者数：①27名 ②25名



詳しくはこちら▶

●はかた大学

『博多で住む人・働く人・訪れる人』を対象として博多の文化や歴史を学ぶ講座を中心に様々なテーマで毎月1回開催。今年度は、当協議会会員企業が講師を務める講座も実施した。

【カルチャー】「福岡市の鉄道史」「初めての手話体験! ~あいさつから始める楽しい手話講座~」「博多の総鎮守お櫛田さん 探究ツアー」「九州場所目録! 浅香山部屋の朝稽古見学・交流会」「はかたまち歩き~スマホで写真撮影 SNS編」「基礎から学ぶ博多人形絵付け体験」

【ライフスタイル】「はじめての動画編集」「今さら聞けないお金にまつわる話」「時短メイクで1日をHappyに」

【フード】「スタンドグラスクッキー作り」

【ホビー】「鉄道車両講座in南福岡車両区」

「プロに教わる 本場に美味しい日本酒の選び方・楽しみ方」 受講者計:205名



詳しくはこちら▶



鉄道車両講座in南福岡車両区



今さら聞けないお金にまつわる話



初めての手話体験!
~あいさつから始める楽しい手話講座~



九州場所目録!
浅香山部屋の朝稽古見学・交流会

会員企業との共催イベント

●A級グルメ大食覧会

5/14 (水) ~5/18 (日)

ザ・メシュラン×ソワニエと当協議会の共催で、JR博多シティ駅前広場にて「食都・福岡・博多からハイレベルな食文化を発信する目的でイベントを開催。グルメ雑誌が選んだ福岡の本格飲食店が一堂に会しシェフが腕を振るう、博多の食の魅力を詰め込んだグルメフェスとなった。当協議会は共催イベントとして、料理研究家けんちゃん先生のトークショー「博多フードミーティング」を開催した。



●はかた夏まつり2025

8/5 (火) ~8/17 (日)

JR博多駅前広場にて、はかた夏まつり実行委員会と共催で、はかた夏まつりを開催。

当協議会は、開催初日のオープニングイベント「打ち水」を実施した。開催期間中は和太鼓演奏などのステージイベントや会場全体を巻き込んだ盆踊り、さらに「提灯タワー」が今年初登場し、夏場のにぎわい創出に寄与した。



●につくくん

~九州 お肉の王国まつり2026~

3/12 (木) ~3/15 (日)

九州観光機構と共催で、九州各地のブランド肉(牛・豚・鶏)が集結するお肉の一大イベントをJR博多駅前広場で開催した。九州のブランド肉料理が多数集結、会場内では「につくくんコイン」を通貨として決済を行うシステムを採用し、多くの観客を呼び込んだ。また、当協議会プレゼンツとして、ステージイベントで「野和太鼓」に演奏いただいた。



交通

●フリンジパーキング 通年

当協議会は福岡市と協業してフリンジパーキングを実施。提携駐車場(住吉パーキング、グランドパーキング)の駐車料金を入庫後最大12時間まで最大500円とし、利用特典として乗車人数分の西鉄バス片道乗車券もしくは、福岡市営地下鉄片道乗車券を進呈。また、利用促進を目的に、フリンジパーキングの利用案内動画をWe Love 天神協議会と合同で作成した。毎月の利用台数は増加傾向にあり、自家用車による都心部流入抑制に取り組んだ。

※フリンジパーキングとは、都心部へのマイカー乗り入れを減らすため、都心周辺部に車を駐車し、バスや地下鉄等で都心部に行く取り組み。

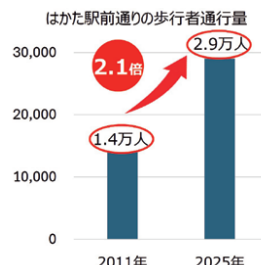
2025年度利用台数 20,449台 ※2026年2月末時点



詳細はこちら

●交通量調査 10/22 (水)、10/25 (土)

博多駅周辺の歩行者、自転車、自動車類の交通実態を把握するため、経年比較を行う交通量調査を実施した。歩行者通行量は訪日外国人の増加などを背景に、過去最多となった。一方で、自転車交通量については年々減少傾向にある。自動車類については、大きな変化は見られずおおむね横ばいであった。はかた駅前通りについては、2011年に約1.4万人であった歩行者通行量は、2025年には約2.9万人となり大幅に増加している。



●押し自転車の呼びかけ 毎月第3木曜日

毎月第3木曜日の朝に行っているクリーンデイの時間を活用し、押し自転車の呼びかけ運動を実施。

福岡市と連携し、住吉通り沿いを中心に押し自転車の呼びかけを実施した。朝の時間帯は歩行者も多いため、「自転車は押しください!」の手持ち看板を活用して、自転車利用者に対する啓発活動を継続的に推進。



●KITTE前住吉通り渋滞対策社会実験 11/10 (月) ~12/7 (日)

博多駅周辺の渋滞緩和に向け社会実験を実施。2025年6月から月に1回渋滞に関わる関係者と意見交換を行い渋滞の解消対策等を策定。博多郵便局交差点、博多駅前3丁目東、音羽西交差点の交通量、渋滞長を調査の上、誘導員を適正に配置し、駐停車禁止路線および満車の案内板を掲示。効果検証の結果、博多郵便局交差点において最大渋滞長が180mから30mへ減少。また、誘導によりKITTE駐車場への集中を避け、他の提携駐車場への分散を図ることができ、公共交通(バス)の遅延の改善を確認することができた。



歴史・文化

●承天寺通り投光器設置 通期

博多駅から博多旧市街エリアのウェルカムゲートである千年門までの承天寺通りにおいて、投光器26台を常設で設置。暗く裏通りの印象であった承天寺通りの木々が明るく照らされ、通りのイメージがガラリと変わり、防犯という点からも歩きやすい通りに生まれ変わった。

●アートの取り組み 通期

福岡市が進める「Fukuoka Art Next (FaN)」事業の推進パートナーとして、アートに関する内容を企画した。わくわく博多のオープニングイベント「わくわくフェス in 東長寺」では、書道家中村ふく氏による書道パフォーマンスを東長寺本堂にて開催した。また、はかたイーストリートでは専門学校日本デザイナー学院九州校の生徒とOBによるライブペインティングを実施した。

FaN
Fukuoka Art Next



わくわく博多 10/4 (土) ~11/3 (月・祝)

数ある博多の歴史・文化・食の魅力を発掘し、博多を訪れる方々だけでなく、周辺地域で暮らし、働く方々にも、改めて博多の魅力を感じられる機会を創出するために複数のイベントを実施。

・オープニングイベント わくわくフェス in 東長寺 10/4 (土)

福岡の子どもたちが、博多の歴史や伝統を学ぶ・食べる・体験する特別な1日。博多にまつわるワークショップや昔あそびゾーン等、境内に多数の遊び場・学び場を用意。さらに、博多のおはぎ屋さんや古本屋さんの出店、書道家である中村ふく氏のライブペイントなどを実施。

参加人数：約200名 ※13:30 雨天中止



・博多ひもときラリー 10/4 (土) ~11/3 (月・祝)

博多にまつわるクイズに答えながらまちを巡り、博多の伝統や文化などの魅力をひもとくクイズラリー。全5カ所に設置したクイズに全問正解した方にオリジナルの手ぬぐいをプレゼントした。

参加人数：4,250名
(景品獲得者数：787名)



・はしごはかた 10/9 (木) ~10/18 (土)

※10/12 (日)、13 (月・祝) 除く

昨年度より参加店舗数を増やし、櫛田神社表参道、冷泉公園、呉服町駅、祇園駅周辺の飲食店34店舗で利用できるお得な「はしごチケット」を販売。チケット購入者には東雲堂とコラボしたオリジナルにわか面をプレゼントした。博多の食文化をより楽しんでもらう機会を創出した。

チケット販売実績：302セット



美しく安心なまちづくり

アクション

- Ⅳ. 環境に配慮した活動を拡大し、彩り豊かなまちをつくる
- Ⅴ. みんなが使う、みんなでつくる「都会のオアシス」を目指す
- Ⅵ. 安心して歩けるまちを目指して、まち全体の連携を推進する
- Ⅶ. 行政、地域、まち協が協力し、三位一体となった取り組みを進める

環境

●クリーンデイ 毎月第3木曜日

毎月第3木曜日の朝に博多駅周辺の清掃活動を行った。「まちの美化」を構築すべく活動に取り組み、前年度より参加人数は増え毎月400名を超える参加となった。4月と11月には通常のクリーンデイより時間を延長し落書き消し活動を行う、「スペシャルクリーンデイ」を実施。500名を超える参加者と共に活動を行った。

年間参加者数：5,657名 年間ゴミ回収量：631.9kg



●スポーツクリーンデイ 2/19(木)

クリーンデイをより多くの人に楽しんでいただく取り組みとして、清掃ワーキンググループが「スポーツクリーンデイ」を初開催した。一人当たり平均のゴミ回収量を競い合うルールで実施し、参加者からは「ゴミの量を競い合うとなると、いつもよりも注意深く見て拾った」と好評をいただいた。

参加者数:21企業、174名



●ポイ捨て調査・啓発活動

9/1(月)、3(水)、9(火)、11(木)、16(火)、19(金)、24(水)、26(金)、30(火)の計9回

喫煙マナーの意識向上を図るべく、まち協ピブスを着用の上、清掃活動とポイ捨て禁止の啓発活動を実施。実施した9日間で約1.5kg、約4,700本の吸い殻を収集。また、福岡市と連携し、現地調査や分煙対策に向けた協議を実施する等、官民連携での取り組みを強化した。



みどり・公園

●はかた駅前通り・筑紫口植栽帯管理事業 通期

はかた駅前通り及び、博多駅筑紫口周辺にてフラワーポット197基の管理を行い、植栽による通りの美しさを演出。今年度は、フラワーポットの配置見直しを行い、福岡市や各企業が取り組む一人一花運動と連携。博多エリア全体の各所に豊かな花と緑を増やすことで、より一層魅力的なまちづくりに努めた。



安全・安心

●防犯啓発活動in防災フェスタ 3/15(日)

博多区主催の防災フェスタにて、災害後に起こりうる性犯罪や盗難などの二次被害に遭わないために正しい防犯知識を身につけ、被害減少に対する意識を高めてもらえるようなパネル展示を行った。また、21世紀アカデミアと協同で防犯や防災に関するノベルティを作成し、配布することで啓発活動を行った。



●事業所対抗ウォーキング大会in博多まち協カップ 11/14(金)~12/4(木)

福岡市と連携を図り、事業所別ウォーキング大会を実施し、入賞チームは12月に行われたクリスマスパーティにて表彰を行った。日頃の平均歩数で順位を競い合うことで、自然と健康意識が高まるだけでなく、会員職場内のコミュニケーション活性化にもつながった。

参加者数:68チーム、406名



●地下通路グリーンパネル設置 通期

博多-祇園間の地下通路ににぎわいを創出することで、先にある旧市街エリアへの誘客や回遊性の向上に資するための検討を行った。今年度は現状の利用状況を調査するために交通量調査と駐輪場の利用状況調査を実施し、地下通路の入口壁面にグリーンパネルを設置。通路入口の美装化を行うことで、当協議会の掲げる「歩いて楽しいまちづくり」につながる取り組みとなった。



●ベンチプロジェクト 通期

当協議会では都心部にベンチ等の休憩設備を常設させることにより、「高齢者や障がい者をはじめ、すべての人がくつろげるまちづくり」と「回遊性を高めることによる歩いて楽しいまちづくり」を推進している。

コロナ禍以降設置を行っていなかったが、近年のインバウンドの増加により設置しているベンチの利用者も多くなっており、はかた駅前通り改良工事により歩道も広くなったため、ベンチの追加設置を実施した。



防災

●天神合同避難訓練 1/27 (火)

会員企業のビルにて、有事の際の一時滞在施設の開設から運営までの一連の流れを会員企業とともに実施。

福岡市市民局地域防災課や九州大学も参加し、実際に使用される段ボールハウスや非常食の準備を行うことで、スムーズな対応ができるよう意識づけを行った。

参加者数:127名



●天神合同帰宅困難者対策セミナー 11/10 (月)

We Love天神協議会、天神明治通り街づくり協議会と合同で、地震発生時における帰宅困難者への対応強化を図ることを目的としたセミナーを開催。

「帰宅困難者対策の解説」「九州大学大学院の研究成果発表」「地震発生時を想定したグループワーク」を行い、都心エリア全体での防災力向上に向けた取り組みを推進できる体制づくりを行った。

参加者数:87名



●防災フェスタ 3/15 (日)

博多区が主催する「博多区防災フェスタ」に当協議会のブースを出展。このイベントは福岡市市民総合防災訓練の一環として行われ、3月にリニューアルした藤田公園と博多区役所を会場に、警察・消防、陸上自衛隊、さらには民間団体など多くの機関が連携してブースを出展した。

「笑顔で楽しく防災を学ぼう!」をテーマに、当協議会の会員と連携して実施した防災セミナーや訓練について紹介し、子どもから大人まで幅広い世代に知らせる貴重な機会となった。



博多コネクティッド

●ワーキンググループ 毎月第3木曜日

博多コネクティッド部会では、博多駅周辺のにぎわいと活力をさらに周辺につなげていく容積率緩和制度「博多コネクティッド」に呼応し、ハードソフト両面での検討を進めながら、建替え等の推進や都市機能の向上に取り組んでいる。毎月のワーキングでは部会メンバーから寄せられたテーマに沿って、有識者からの話や勉強会を行いながら機運醸成につなげていく。今年度は企業誘致の面での他都市との比較や福岡都心の強みの分析、会員企業の竣工したビルの内覧を行った。

各回平均:リアル参加40名 オンライン参加15名



開催月	内容	講師
5月	グリーンビル促進事業	福岡市
6月	先進事例視察(札幌)	各開発事業者
7月	回遊性向上・にぎわいづくりの取り組み	(株)ダイスプロジェクト
8月	会員企業物件視察 (中央日土地博多駅前ビル)	中央日本土地建物(株)
9月	会員企業物件視察 (天神住友生命FJビジネスセンター)	福岡地所(株)
10月	福岡のオフィスマーケット	シービーアールイー(株)
11月	リノベーション・コンバージョン	(株)船場、大成建設(株)、(株)日建設計
12月	国際競争力強化	(株)乃村工藝社
1月	防災	九州旅客鉄道(株)
2月	防災訓練	事務局
3月	駅舎活用の取り組み	九州旅客鉄道(株)

●先進事例視察 6/26 (木)、6/27 (金)

官民連携のまちづくりの先進事例として札幌の視察を行った。福岡市と同様に、都心部のビルの建替えを促進している札幌市の取り組みについて説明を受けた。実際に完成したビルや、実施中のイベントなどの視察を行い、2日間で非常に多くの学びを得ることができた。

参加者数:40名(21社)



協議会活動の充実

●通常総会・講演・懇親会 4/22 (火)

ホテル日航福岡にて、2025年度通常総会を開催し170名が出席。総会終了後は、九州大学・黒瀬武史先生に「これからの博多のまちづくりに向けて」と題しご講演いただき、その後懇親会を開催した。懇親会は、昨年を上回る144名の参加があり、各テーブルで名刺交換や笑顔で歓談されている様子が見受けられ、会員同士の交流を深める場となった。

通常総会 参加者数:170名

懇親会 参加者数:144名



●忘年クリスマスパーティ 12/18 (木)

会員同士の相互交流や博多駅周辺地区におけるネットワークの構築を目的として、12月にグランドハイアット福岡にて開催。過去最多の出席者となり、会員企業や博多区の行政機関など、まちづくり関係者同士の横のつながりを強めることができた。パーティ内では協賛品の抽選会やクイズ大会、事業所対抗ウォーキング大会の表彰式など様々なイベントが催された。

参加者数:178名



●福岡検定団体受験 1/25 (日)

福岡の歴史・文化・観光などの魅力を知り「福岡通」を目指す「福岡検定」は、当協議会の会長が実行委員を務めており、「福岡検定」の認知向上・受験意欲を目的として初めて団体受験を企画した。当日は13名が受験を行い、初級11名、中級・上級2名が合格した。その結果を受けて、当協議会が「福岡検定」公認!『福岡おもてなし団体2026』に認定された。



●地域イベントとの連携

6月19日 ラブアース・クリーンアップ2025
(福岡市環境局ごみ減量推進課)

11月1日～ クリスマスアドベント
12月25日 (福岡クリスマスマーケット実行委員会)

1月23日 招福訪問豆まき(東長寺節分祭世話人会)

1月25日 令和7年度「福岡検定」(「福岡検定」実行委員会)

2月3日 節分祭(東長寺、住吉神社)

通年 福岡県警察音楽隊「安全・安心コンサートin博多」



●他組織への参画(委員就任、会議出席など)

・全国エリアマネジメントネットワーク

・天神博多商業連携会議

・博多警察署協議会

・博多千年門・承天寺通り振興会

・博多の魅力発信会議

・博多ライトアップウォーク実行委員会

・博多秋博連絡会議

・福岡市バリアフリー推進協議会

・福博花しるべ実行委員会

・福博花しるべ選定委員会

・福岡ミュージックマンス会議

・福岡市都市交通協議会

・福岡市地域公共交通計画協議会

・福岡検定実行委員会

・福岡市屋外広告物審議会

・住吉神社地区の景観まちづくりを考える会

・ユニバーサル都市・福岡推進協議会

・一人一花連絡会

・福岡都心地域
都市再生緊急整備協議会

・札幌広福連絡会議

・福岡地域戦略推進協議会

・アートまちづくり
実践者ネットワーク会議

・国体道路空間利活用推進会議

情報発信

●SNSの活用

SNS (Instagram・Facebook) を活用し、協議会の活動周知や各部会におけるイベントの告知、クリーンデー開催案内・報告、博多のまちに関する内容などタイムリーな情報を発信した。



詳細は
こちら



●公式HPのリニューアル (会員専用ページ公開)

当協議会への入会特典の一つとして、今年度より会員専用ページの運用を開始した。IDとパスワードを入力すると会員専用ページにログインでき、毎年実施している交通量調査の結果や、公開空地のガイドライン、シンポジウムやワークショップの報告書など様々な情報を閲覧できるようにした。



詳細は
こちら



●博多まちづくりガイドライン2014改訂プロジェクト

現行のガイドライン2014の策定から10年超が経過し、当協議会を取り巻く環境は大きく変化している。また、ウォーカブルやイノベーションといったまちづくりに係る新しい価値観も生まれている。

そのような背景のもと、新しいガイドラインの策定に向けて、ワーキンググループを設置した。メンバーには九州大学黒瀬武史教授にもご参加いただき、理事会社を中心に構成した。1年間(全9回)にわたるワーキングの開催とあわせて、3部会での意見交換、全会員に向けた意見募集、関係する5自治協議会への説明会などを通して、多くの関係者からたくさんのご意見をいただいた。

当プロジェクトの成果である「博多まちづくりガイドライン2026」は、次年度よりスタートする。

開催月	内容	インプット(講師)
第1回 (5月)	・GL改訂の背景と目的 ・GL2014の振り返り	—
第2回 (6月)	・まちの変化	1) エリマネ活動の潮流(ソトノバ) 2) 全国のエリマネ活動の事例・手法の紹介(ソトノバ)
第3回 (7月)	・GL2014の振り返り ・まちの変化	1) リノベーションのまちづくり(UR機構) 2) 天神のまちづくり (天神と比較した博多の特徴 ・まちの変化の見える化) (LKP)
第4回 (8月)	・GL改訂の方向性	1) 福岡市基本計画(福岡市) 2) 博多のまちの特徴(黒瀬教授) 3) インバウンドの実態(JRホテルズアンドリゾーツ)
第5回 (9月)	・私たちの役割WS ・まちづくりのテーマWS	—
第6回 (10月)	・前回WSまとめ ・GL改訂の方向性 ・GL改訂素案	1) 官民連携のまちづくり(国土交通省)
第7回 (11月)	・GL改訂素案	・意見交換
第8回 (12月)	・GL改訂素案	・意見交換
第9回 (3月)	・GL改訂案確認	・意見交換



自主財源

●まちづくり支援自動販売機

売上金の一部を協議会の活動費（まちづくり協力金）として寄付していただく自動販売機の設置企業を募集。（2026年3月時点7台設置）



●街路灯バナー広告事業

はかた駅前通り、住吉通り、大博通り、筑紫通り、空港通りの街路灯バナー広告を募集した。はかた駅前通りでは外国人に人気の「チャンネルシティ博多」などへ道案内する5カ国語案内サインを掲出した（日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語）。また、寺社エリアへの観光導線強化を目的に、空港通りに「博多旧市街」案内サインを掲出した。その他に「おしチャリ」「フリンジパーキング」など行政と連携したまちづくりに関する内容も掲出した。その収入の一部は協議会の活動費にあてている。（2025年度実績：劇団四季、（株）福岡銀行）



●パークキッチンカープロジェクト

福岡市が推進する「Fitness Cityプロジェクト」と連携した施策。すべての人に向けて、憩いの空間となる公園の活用検討を進める社会実験の一環として、博多駅周辺の音羽公園、中比恵公園、出来町公園において、キッチンカーを出店した。



●公開空地活用

福岡市が進めている「公開空地等活用計画」に基づき、登録済み公開空地におけるイベント収益の一部を「まちづくり協力金」として収受する仕組みを運用している。今年度は新たに2カ所の登録を行い、計9カ所にて活用している。登録された公開空地ではイベントの実施、シェアサイクルポートの設置、低層部のテナントのテラス席設置と多様な取り組みを実施している。



その他の活動実績

●定例会議の実施

- 4月22日 2025年度通常総会
- 7月29日 第1回理事会
- 10月24日 第2回理事会
- 12月18日 第3回理事会
- 3月17日 第4回理事会



●事務局事例視察

- 10月20日・21日 神戸市、姫路市
- 11月13日・14日 栄ミナミまちづくり会社、名古屋市・錦二丁目エリアマネジメント（於：名古屋）
- 11月20日 定禅寺通エリアマネジメント（於：仙台）
- 11月21日 仙台駅東まちづくり協議会（於：仙台）



○博多まちづくり推進協議会会員一覧

【正会員】

(株)朝日新聞社、(株)朝日ビルディング 九州支社、(株)アサヒファシリティズ 九州支店、(株)伊藤園、NTTアーバンバリユーサポート(株)、NTT都市開発(株) 九州支店、NTT西日本(株) 九州支店、(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス、(株)大林組 九州支店、鹿島建設(株) 九州支店、堅粕校区自治協議会、紙与産業(株)、九州勧業(株)、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、麒麟ビール(株)、(株)クラフティア、グランド ハイアット 福岡、(株)神戸製鋼所 九州支店、西部ガス(株)、(株)サエキジャパン、(株)サニクリーン九州、JR九州アセットマネジメント(株)、JR九州サービスサポート(株)、JR九州ファーストフーズ(株)、JR九州フードサービス(株)、JR九州ホテルズアンドリゾーツ(株)、JR九州リテール(株)、(株)JR博多シティ、JPビルマネジメント(株)、シービーアールイー(株) 福岡支店、住友商事九州(株)、住吉自治協議会、筑前國一之宮 住吉神社、総合システム管理(株)、大成建設(株) 九州支店、大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 西日本CXセンター、(株)竹中工務店 九州支店、中央日本土地建物(株)、(株)TVQ九州放送、(株)デュークスホテル、(株)テレビ西日本、東京建物(株) 九州支店、遠山偕成ホールディングス(株)、TOPPAN(株)、(株)西日本シティ銀行、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株) 山陽新幹線統括本部 福岡支社、日本たばこ産業(株) 福岡支社、日本郵政不動産(株)、博多駅南西街区まちづくり協議会、博多校区御供所自治協議会、博多校区冷泉自治協議会、(株)博多ステーションビル、博多バスターミナル(株)、(株)博多福住、ハニービル開発(株)、(株)阪急阪神百貨店 博多阪急、東住吉校区自治協議会、(株)ひよ子、(株)ファビルス、深見興産(株)、(株)福岡銀行、福岡地所(株)、福岡商工会議所、(株)福岡リアルティ、(株)ふくや、(株)福山コンサルタント、(株)フジタ 九州支店、(株)ホテル日航福岡、(株)ホライズン・ホテルズ 博多ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル福岡、(株)丸井 博多マルイ、三井不動産(株) 九州支店、三菱地所プロパティマネジメント(株)、(株)明月堂、(株)八百治、安田不動産(株)、(株)山口油屋福太郎

【一般会員】

アクティオ(株) 福岡営業所、(株)朝日印刷 福岡支店、アサヒビール(株)、(学)麻生塾 麻生公務員専門学校 福岡校、(株)アットマーク・ラーニング、アビスパ福岡(株)、RKB毎日放送(株)、安藤造園土木(株)、(株)石村萬盛堂、(株)伊予銀行 福岡支店、(株)ウェルビー、(有)内田エステート、(株)エイジック、SMBCコンシューマーファイナンス(株)、(株)エフエム福岡、(株)エフ・ジェイ ホテルズ、(株)オー・エイチ・アイ、(株)岡部マイカ工業所、(株)オカムラ、(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支社、オリエンタルホテル福岡 博多ステーション、(株)オルトアンドカンパニー、(株)鹿児島銀行 福岡支店、(株)ガーディアン、上内電気(株)、九州朝日放送(株)、(一社)九州観光機構、(学)九州呉学園 専門学校日本デザイナー学院、(株)九州DTS、(株)九州博報堂、協同エンジニアリング(株) 福岡支店、(株)近鉄・都ホテルズ 都ホテル博多、(株)久原本家グループ本社、(株)久米設計 九州支社、(株)グリーンディスプレイ 福岡支店、KDDI(株) 九州総支社、コクヨマーケティング(株)、コーユーレンティア(株) 九州支店、五洋建設(株) 九州支店、西京ホンダ販売(株)、(株)サットンホテル博多シティ、(株)サニックスホールディングス、ザ ロイヤルパークホテル 福岡、(株)サンケイディライト、(株)サン・ライフ、JR九州エージェンシー(株)、JR九州コンサルタンツ(株)、JR九州商事(株)、JR九州セコム(株)、JR九州ビルマネジメント(株)、JR九州保険コンサルティング(株)、JR九州レンタカー&パーキング(株)、(株)ジェイアールサービスネット福岡、(株)ジェイアール西日本ビルトビープラス、JR西日本不動産開発(株) 福岡支社、ジーク(株) 福岡店、七洋物産(株)、(株)シティビル、清水建設(株) 九州支店、住友生命保険(相)、スリーアール(株)、成和商事(株)、セコム(株) 博多統轄支社、(株)宣翔物産 ホテルクリオコート博多、(株)船場、損害保険ジャパン(株)、(株)大広九州、(株)ダイスプロジェクト、太陽生命保険(株)、(株)丹青社 九州支店、チャリチャリ(株)、千代田興産(株)、(株)ティーケービー、(株)テレコムスクエア 九州支店、東急建設(株) 九州支店、(株)東急コミュニティー 九州・沖縄事業部、TOTO(株) 九州支社、長崎船舶装備(株)、(株)二鶴堂、(株)日建設計(九州オフィス)、(株)西鉄ホテルズ、(株)西日本新聞社、(学)21世紀アカデミア、日本生命保険(相)、(株)日本旅行 九州法人営業部、ネオス(株)、(株)乃村工藝社 九州支店、博多駅商店連合会、(株)博多グリーンホテル、博栄法律事務所、(株)白水社 福岡支店、(株)博報堂プロダクツ 九州支社、(株)早川不動産、(株)PIATTIBELLA、日之出水道機器(株) 九州営業所、(株)日比谷花壇、(公財)福岡観光コンベンションビューロー、NPO法人 福岡建築ファウンデーション、(有)フクオカ・ナウ、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、(株)復建エンジニアリング 福岡支社、(株)プレジデントハカタ、(株)ベルシステム24 業務統括本部 業務支援部 西日本総合業務グループ、前田建設工業(株)九州支店、マーシュジャパン(株)、丸紅(株) 九州支社、三井ガーデンホテル福岡祇園、(株)未来図建設、(株)Mellow、(株)森硝子店、(株)八百治博多ホテル、(株)山下設計 九州支社、山田コンサルティンググループ(株)、UCCコーヒーフロフェッショナル(株)、LINEヤフーコミュニケーションズ(株)、ルートインジャパン(株)、Local Knowledge Platform (同)、YSボール(株)九州支店

【特別会員】

九州大学、国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、(独)都市再生機構 九州支社、(株)日本政策投資銀行 九州支店、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡県、福岡県警察本部、福岡市

【正会員 78、一般会員 118、特別会員 9、賛助会員 7 計212会員】

2026年3月31日現在(五十音順)